

(裏面もご覧下さい。)

回 覧

地域づくり・人づくり・関係づくりをコンセプトに、生涯学習・社会教育に関する様々な情報をお届けします。

西郷村教育基本理念「自立と共生」

令和7年4月1日(火)

中央公民館だより

No. 23

発行責任者
教育長 秋山充司

文 責
館 長 渡邊康一



「住民による主体的な活動の場」「みんなが気軽に集える場」

令和7年度公民館事業について (イベント・教室等)

令和7年度の各種事業については、3月に回覧板等により皆様にお知らせした通りです。西郷単位制総合大学をはじめ、様々な講座を予定しておりますので、皆様の参加をお待ちしております。また、それぞれの事業は、その都度ちらし等によりご案内を差し上げております。すでに募集を開始している講座もありますので、ご不明な点は気軽に生涯学習課・中央公民館(TEL25-2371)までお問い合わせください。

なお、文化センターのロビーには、今年度の事業のお知らせや各種ちらしを置いてありますので、自由にお持ちください。(掲示板には、令和6年度の事業の様子と文化協会加盟団体・自主サークル団体の紹介もあります。)



現代は様々な地域課題があり、これらの課題を一人で解決するのは難しい時代になってきました。これからの課題解決には、仲間をつくる「つながりづくり」が必要です。地域の活性化のためにも、生涯学習課・中央公民館も「人づくり」「地域づくり」「関係づくり」をコンセプトとして、今年度も地域の皆様とともに歩んでいきたいと思っております。



令和7年度 地域学校協働本部事業 →地域と学校との連携・協働

学校が抱える課題が複雑化・多様化する中、未来を担う子どもたちの育成を学校のみ委ねることは不可能であり、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、社会総がかりで教育活動を行うことが求められています。今年度も、西郷村教育委員会では「地域学校協働本部」を設置し、小中学校8校において、地域学校協働活動事業(学校支援・学習支援・放課後子ども教室)に取り組んでいきます。また、村内各校で設置しているコミュニティ・スクールと地域学校協働活動事業が、さらに一体的に推進できるよう関係者と連携を図りながら進めていきます。

令和7年度の各事業について

【学習支援(ステップフリー)】…募集については、その都度各学校を通して配布します。

放課後に児童館と小学校で実施する教室、長期休業中の教室、休日に文化センターで行う中学生の教室があり、塾講師などの指導者が児童・生徒の基礎学力向上を目的として指導しています。

<小学生対象>…夏休みの会場は村文化センター

○夏休み学習教室 →7/22(火)、23(水)、24(木)、25(金)

○小学校での学習 →6月から12月(年間20回程度:熊倉小・小田倉小・米小・羽太小で実施)

<中学生対象>…会場は村文化センター

○1・2年生対象 →6/14(土)から7/12(土)の毎週土曜日(午後)5回

○3年生対象 →10/4(土)から2/21(土)の毎週土曜日(午前)17回



【学校支援事業】

中学校区のコーディネーターが学校からの要望に応じて地域ボランティアとの連絡調整を行い、学校の環境整備や体験活動等の授業支援を行います。今年度も、地域の皆様にご協力いただき、各学校では、安全安心な環境のもと、充実した教育活動を進めていきます。

【放課後子ども教室】

この教室は、子ども達の多様な体験の場、地域の方との交流の場により、未来を担う子ども達を地域で育成していくことが目的です。従って、保護者の方の就労関係でお預かりする児童館とは目的が異なります。また、子ども教室のスタッフが不足している現状なので、定員や参加学年について、学校により条件が異なりますので、ご了承ください。

子ども教室の募集については、4月中旬頃に各学校を通してちらしを配布します。

地域学校協働活動本部事業（R6）

＜学校支援事業＞ →学校の要望に応じて、地域・行政・関係機関等の指導者を派遣しています。

防災教育（羽太小学校）（3/11） …今年度3回目

【テーマ】 ～一歩踏み出そう～『みんなが安心できる避難所づくり』

＜ステップ1＞午前、全学年で道徳科の授業を行い、その後に関西大学の近藤誠司教授によるご指導がありました。続いて、なかよし班での給食と防災についての作戦会議をしました。

＜ステップ2＞午後は、防災課の田村智志さんから、村の防災体制と避難所開設についての講話がありました。その後、6つの班（受付・情報・乳幼児・介助・個別対応・居住スペース設置）に分かれ、避難所開設を想定した訓練を行いました。

＜ステップ3＞健康推進課保健師の小針朋子さん、高橋実咲さんから「避難所における心と体の健康保持について」の講話がありました。その後、仮設トイレと凝固材の使い方について、デモンストレーションを行いました。

避難所運営の訓練を通して子ども達からは、「お年寄り・妊婦・目の不自由な人など、いろいろな人が来るので、誘導が大変だった」「けが人や病人がゆっくりできるような保健室をつくった」「テントを危なくないように組み立て、大きさを考えてテント内に入れる物を考えた」などの感想がありました。防災教室の最後に、近藤教授からは「防災はみんなの問題であり、一生の問題でもある。大事なのは力を合わせ協力することで、心を一つにすることである」とご指導がありました。保護者・地域の皆様や関西大学の学生も参加し、防災と未来について考えた一日でした。



＜避難所受付＞



＜テント設営＞



＜仮設トイレの説明＞



＜近藤教授の指導＞



＜避難者テント＞

そろばん（米小学校・羽太小学校）（3/4～6）

生涯学習課の渡邊康一中央公民館長が、算数科のそろばんの授業を行いました。3月4日と5日は米小学校（3・4年生）、3月6日は羽太小学校（3年生）に出向いて、そろばんの数の読み方や計算のしかたを学習しました。子ども達は、そろばんの使い方に興味を持ち、たし算やひき算が少しずつできるようになり、そろばんのよさも体験することができました。授業後は、「初めてそろばんを使い、とても楽しかった」という声がたくさん聞かれました。



地区集会施設出前講座（地区集会施設の活用促進）

羽太グリーンタウン（3/16）「感謝する会」

1年間お世話になった見守り隊の皆様をはじめ、羽太小の先生方も参加して、感謝する会を行いました。今年度最終回（10回目）の親子活動は、ダイヤモンドアート（コースターづくり）でした。見守り隊の皆様と卒業する6年生への感謝の気持ちをこめた、心あたたまる会となりました。



大平地区（3/25）「押し花教室」

「押し花教室カトレア会」の皆様のご指導で、押し花によるカレンダーづくりを行いました。約40名の参加者は、カトレア会で準備した草花を使って、自分の想いを込めて作品を仕上げました。



これは、地域住民の身近な公共施設である地区公民館やコミュニティセンターなどの地区集会施設等を、生涯学習の場として活用を促進し、地域における生涯学習の一層の充実を図ることを目的として行っています。令和7年度も、村内の地区集会施設の活用を促進していきますので、出前講座（講師紹介や派遣等）を希望する行政区は、中央公民館までお問い合わせください。